# 令和８年度　全国学力・学習状況調査
# 南 富 良 野 町 の 結 果 に つ い て

## Ⅰ　調査の概要

### １．調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### ２．調査対象学年

○町内小学校第６学年の児童、町内中学校第３学年の生徒　原則として全児童生徒

### ３．調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に係る内容等

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|---|---|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br><br>(例)「国語・算数（数学）の勉強は好きですか」「学校の授業以外に普段、１日当りどれくらいの時間、勉強をしますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br><br>（例）「前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか」「調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」など |

## Ⅱ　調査の結果

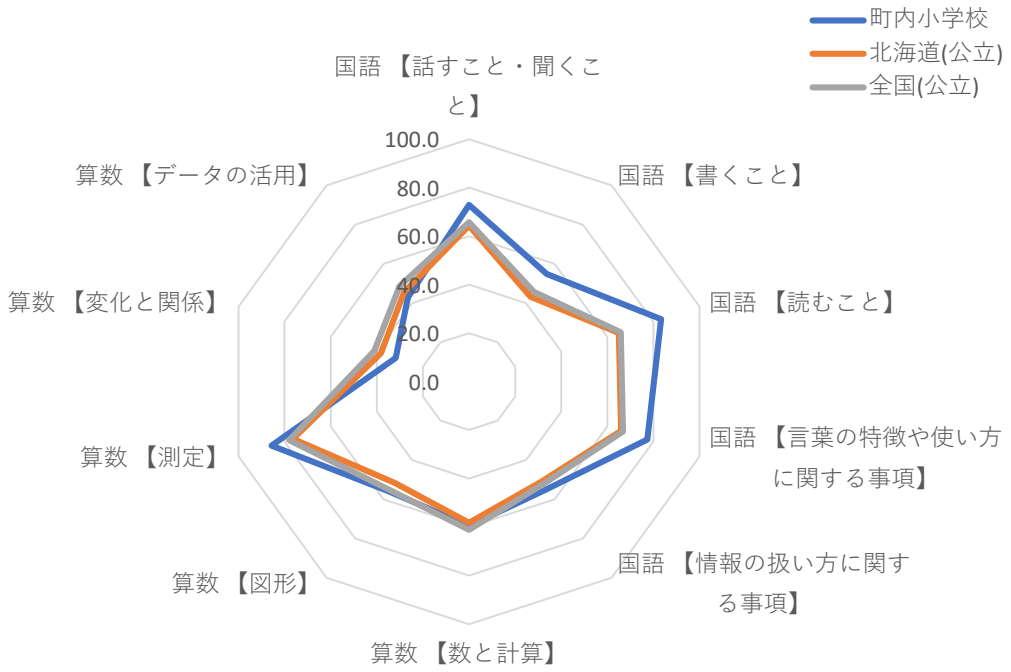
本調査で結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

１．児童生徒の学力の状況について

(1)小学校（平均正答率）

| 教　　科 | 南富良野町 | 全道平均 | 全国平均 | 全国との比較 |
|---|---|---|---|---|
| 国　　語 | ７０．０ | ６０．０ | ６０．９ | ↑　９．１ |
| 算　　数 | ５５．０ | ５４．０ | ５６．４ | ↓　１．４ |

| | 項　　目 | 町内小学校 | 北海道(公立) | 全国(公立) |
|---|---|---|---|---|
| 国語 | 話すこと・聞くこと | ７３．０ | ６４．４ | ６５．８ |
| | 書くこと | ５４．８ | ４３．２ | ４５．７ |
| | 読むこと | ８３．３ | ６５．０ | ６５．９ |
| | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ７７．４ | ６５．９ | ６６．８ |
| | 情報の扱い方に関する事項 | ５４．８ | ５１．０ | ５２．３ |
| 算数 | 数と計算 | ５９．５ | ５８．２ | ６１．１ |
| | 図形 | ５６．０ | ５１．８ | ５５．３ |
| | 測定 | ８５．７ | ７６．４ | ７８．１ |
| | 変化と関係 | ３１．７ | ３８．１ | ４１．１ |
| | データの活用 | ４２．９ | ４５．６ | ４８．６ |



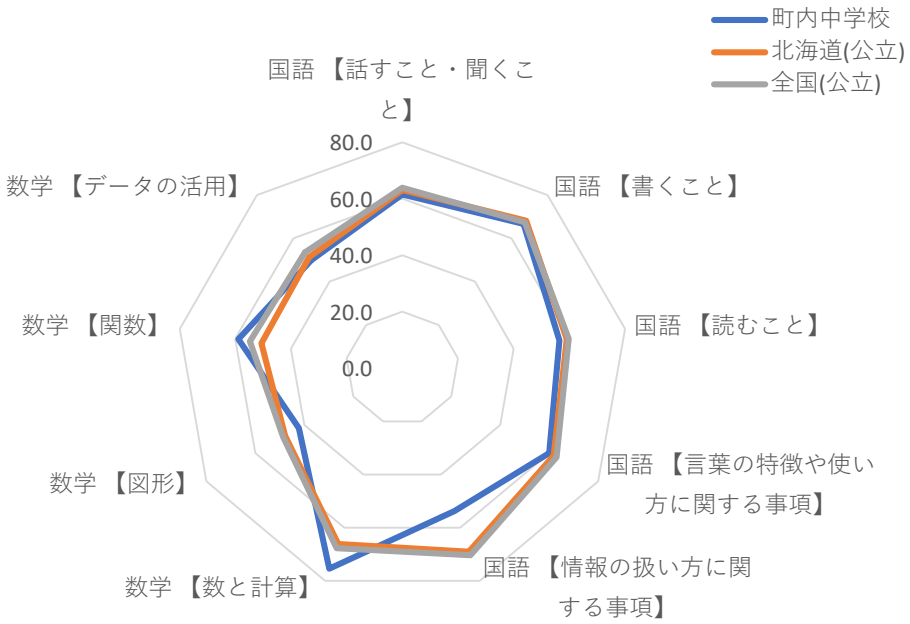

小学校は、国語が全ての項目で全国平均正答数を上回っている。

算数は「図形」「測定」の正答率が高いが、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の項目で全国平均正答率を若干下回っており、全体でも全国平均正答率を下回っている。

(2) 中学校（平均正答率）

| 教　　科 | 南富良野町 | 全道平均 | 全国平均 | 全国との比較 |
|---|---|---|---|---|
| 国　　語 | ６１．０ | ６３．０ | ６３．９ | ↓　２．９ |
| 数　　学 | ５８．０ | ５５．０ | ５７．０ | ↑　１．０ |

| | 項　　目 | 町内小学校 | 北海道(公立) | 全国(公立) |
|---|---|---|---|---|
| 国語 | 話すこと・聞くこと | ６１．５ | ６３．１ | ６３．９ |
| | 書くこと | ６６．７ | ６８．２ | ６７．４ |
| | 読むこと | ５６．４ | ５９．０ | ５９．７ |
| | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ６０．０ | ６１．９ | ６３．０ |
| | 情報の扱い方に関する事項 | ５３．８ | ６９．０ | ７０．４ |
| 数学 | 数と計算 | ７５．４ | ６６．２ | ６７．８ |
| | 図形 | ４２．３ | ４７．９ | ４８．７ |
| | 関数 | ５９．０ | ５０．７ | ５４．８ |
| | データの活用 | ５０．０ | ５１．３ | ５３．５ |




中学校での全国平均正答率の比較では、国語が下回り、数学が上回っている。
国語では全ての項目で全国平均正答率を下回っている。数学では「数と計算」「関数」が全国平均正答率を上回っているが、「図形」「データの活用」は全国平均正答率を下回っている。

２．児童生徒質問の傾向について

※共通質問のうち、「生活習慣の基本に関わるもの」「家庭と学校の連携が必要なもの」を抜粋しています。

※網掛けは、全国平均より上回っている項目を表しています。

※数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

(1)家庭での生活・学習について

| 質　問　事　項 | 全　国 | 小学校 | 全　国 | 中学校 |
|---|---|---|---|---|
| 朝食を毎日食べている | ９３．３ | ９０．９ | ９０．９ | ８４．６ |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | ８２．８ | ８１．８ | ８０．５ | ９２．３ |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きている | ９０．７ | ９０．９ | ９２．４ | ８４．７ |

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日どのくらい時間勉強をしますか（学習塾でしている時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

| | ３時間以上 | ２時間～３時間 | １時間～２時間 | １時間未満 | 全くしない |
|---|---|---|---|---|---|
| 全　国 | １０．５ | １１．１ | ２８．３ | ４３．６ | ５．７ |
| 小学校 | ０．０ | ４．５ | ４０．９ | ５０．０ | ０ |
| 全　国 | ８．９ | ２１．２ | ３１．５ | ３１．０ | ６．９ |
| 中学校 | ０．０ | １５．４ | ３８．５ | ３８．５ | ７．７ |

家庭での生活・学習について、小学校・中学校ともに基本的な生活や家庭での学習習慣が身に付いているが、特に中学校では規則正しい生活が送れている。

小学校の７８．５%、中学校の４２．９%が１時間未満の学習となっており、学習時間の目標に到達しない実態がある。

(2)学校での生活・学習について

| 質　問　事　項 | 全　国 | 小学校 | 全　国 | 中学校 |
|---|---|---|---|---|
| 国語の勉強は好き | ５７．４ | ５４．５ | ５７．２ | ５３．９ |
| 国語の授業の内容はよく分かる | ８１．５ | ８６．４ | ７６．８ | ９２．３ |
| 算数・数学の勉強は好き | ５７．６ | ５９．１ | ５６．１ | ６９．３ |
| 算数・数学の授業の内容はよく分かる | ７７．５ | ７２．７ | ７４．２ | ６９．３ |

小学校では、「国語」「算数」の「勉強は好き」は全国平均よりも大幅に下回っているが「授業の内容はよく分かる」が全国平均よりも上回っている。中学校では「国語」の「勉強は好き」は全国平均よりも若干下回っているが「国語」「数学」ともに「授業の内容はよく分かる」が全国平均よりも上回っている。

(3)関心・意欲・態度等について

| 質　問　事　項 | 全国 | 小学校 | 全国 | 中学校 |
|---|---|---|---|---|
| 自分には、よいところがあると思う | ８５．６ | ８６．４ | ８４．０ | ８４．７ |
| 新聞を読んでいる | １０．０ | ９．１ | ６．２ | ７．７ |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | ９６．２ | １００．０ | ９５．１ | ９２．３ |
| 人の役に立つ人になりたい | ９５．８ | １００．０ | ９５．９ | １００．０ |
| 将来の夢や目標を持っている | ８１．８ | ９０．９ | ６７．６ | ６９．３ |

中学校の「新聞を読んでいる」は全国平均よりも上回っているが、あまり読まれていない。※「ほぼ毎日」「週に１～３回程度」の集計であり、「月に１～３回程度」を含めると小学校２７．３%、中学校１５．４%となっている。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」は全員が肯定的な意見となっている。

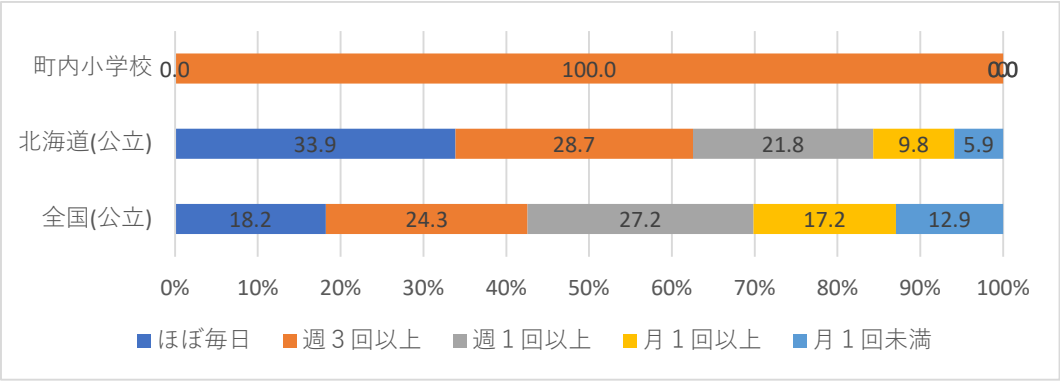
小学校・中学校ともに「自分には、よいところがあると思う」が全国平均よりも上回っており、自分に自信が持てているものと思われる。

「人の役に立つ人になりたい」「将来の夢や目標を持っている」は小学校・中学校ともに全国平均よりも上回っている。

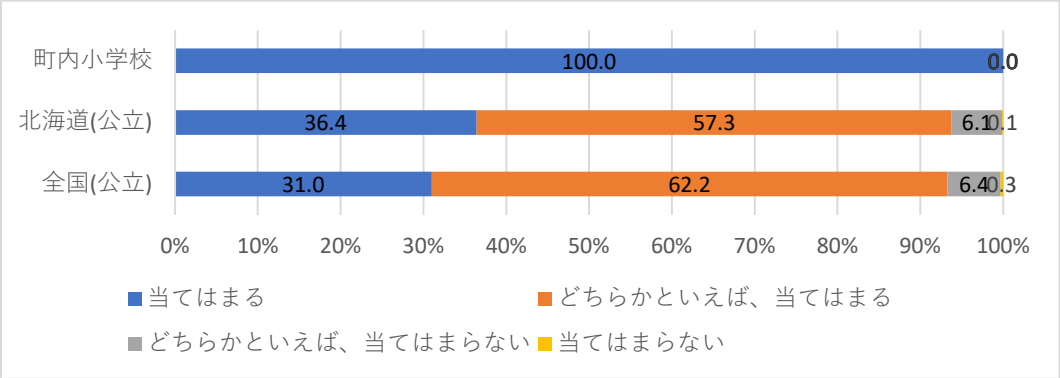
○質問調査の状況

小学校＜学校質問＞

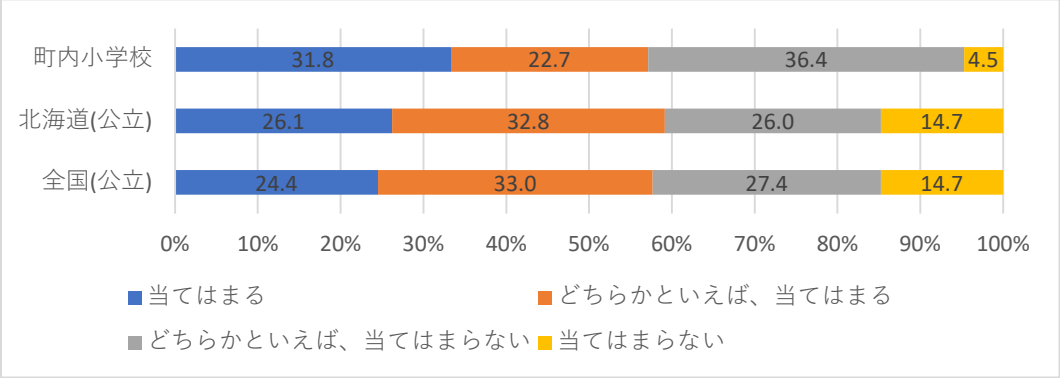
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



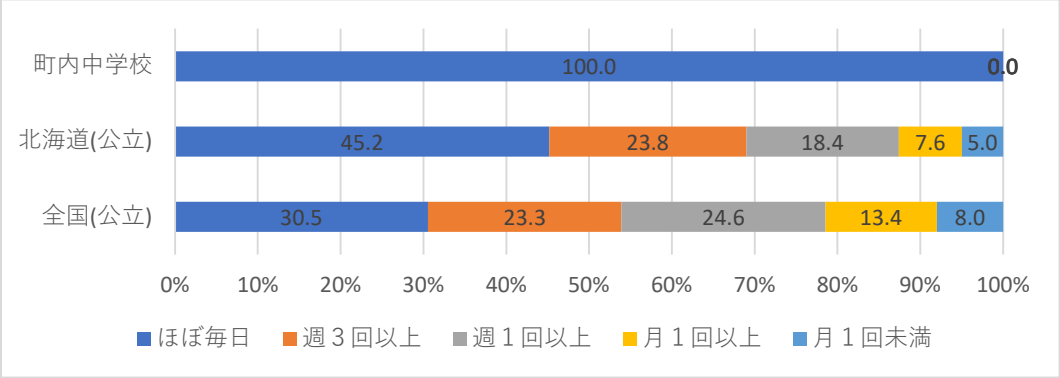
小学校＜児童質問＞
　授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか




小学校＜児童質問＞
　国語の勉強は好きですか

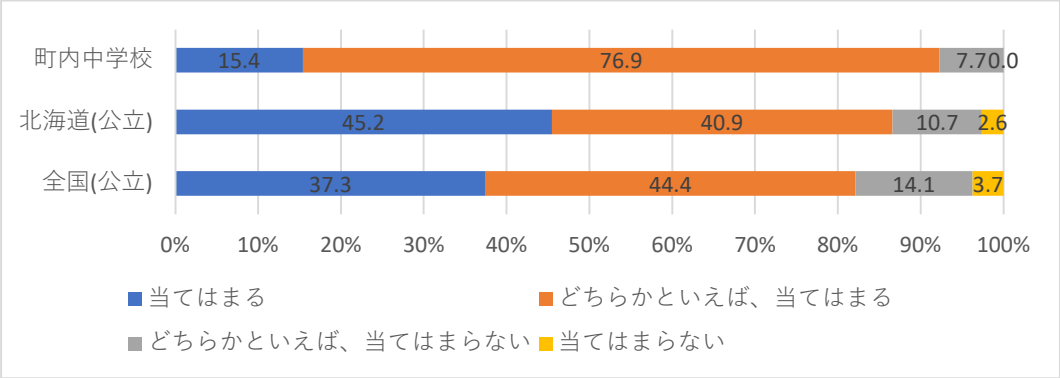



中学校＜学校質問＞
　生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用させていますか



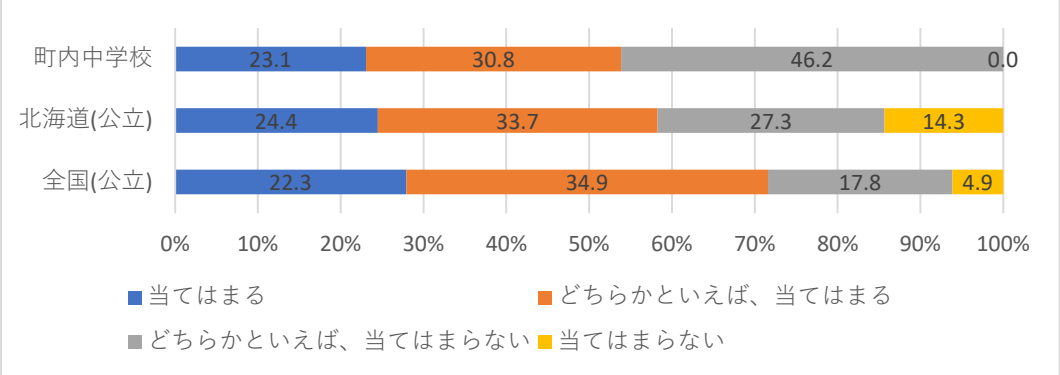
中学校＜生徒質問＞

総合的な学習の時間ではＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。




中学校＜生徒質問＞

国語の勉強は好きですか




○調査結果の分析

・小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人ひとりに配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を週１回以上使用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人ひとりに配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を週１回以上使用したことにより、総合的な学習の時間ではＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

○今後の改善方策

・学習意欲を高める授業づくりをはじめ、補充学習によるきめ細やかな支援により、基礎学力の定着を図る取組の推進

・ＩＣＴ端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進